

報道関係者各位

登山人気を押し広げる新しい登山ツアー「文学登山ツアー」で、持続可能な地域活性化を目指すクラウドファンディングを4月1日より開始



日本の登山界を統轄する組織であり、近年では五輪種目のスポーツクライミングの国内競技連盟（以下、NF）で、次の冬季五輪で採用された山岳スキー競技SKIMO（スキーモ）のNFでもある公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（所在地：東京都新宿区、代表理事：蛭田伸一、以下JMSCA）は、登山人気を押し広げる新しい登山ツアーで、持続可能な地域活性化を目指すクラウドファンディングを開始しました。タイトルは「岩手山を望む、東北の文学登山ツアー ～味わう登山。山と自然と文学と。～」。6月30日まで実施し、集まった資金は、登山道整備、自然保護活動に使用させていただきます。

<クラウドファンディングページ>

<https://motion-gallery.net/projects/jmsca-01-iwatesan>

※ページ内の写真はご自由にお使いいただけます。

● 概要

日本全国の地域に存在する山と、各地域に根ざした文学を掛け合わせて新しい登山体験を提供することで、過去、該当地に訪れたことのない新規の登山者、登山未経験者、再訪の登山者などの誘客を目指します。

具体的には、地域の山岳会や観光協会、アカデミックな各種団体と連携し、魅力的な地域の山を対象として、関係する特徴的な自然、文学、宿泊施設、温泉といった既存の資源を組み合わせパッケージ化することで、魅力を最大化し、それを登山ツアーとして落とし込みます。誰でも一度は行ってみたい山と、地域に根ざした活動をする団体や個人だからこその地域の細部の魅力。これらを掛け合わせることで、いままでにない魅力を生み出します。

ツアーは、登山未経験者でも完遂できる設計とし、山岳会の協力の元、山岳に関する有資格者であるガイドがツアー団体の前後に付き添いフォローします。登山の前日には地域の自然や文学といった文化を伝えるコンテンツを用意し、その体験を元に翌日登山に臨みます。下山後の温泉や食事といった体験を一連でつなぎ、ほどよい疲労とともに快適なツアー体験を提供します。そして地元が自信をもって推薦する宿をご用意することで、失敗のない旅の体験を提供します。

今回はプロジェクトの第一弾。舞台は岩手県です。地域の山岳協会、観光協会と連携してツアーを醸成します。岩手で最も著名な岩手山が現在、火山活動の活発化による入山規制が出ていることから、岩手山を望むツアーとして、雫石の秋田駒ヶ岳、盛岡の姫神山を対象に登山を実施します。また、岩手を代表する文学者として、宮沢賢治、石川啄木を取り上げ、彼らの作品を紐解きながら、今回の対象となる山々へのまなざしを専門家とともに探っていきます。宿泊施設は1日目が「国見温泉 森山荘」、2日目が「ユートランド姫神」と、どちらもすばらしい景観とお湯の温泉を有し、地元の食材をふんだんに使用した食事に参加者をおもてなしします。その他、今回のために特別に制作する手ぬぐいや、ツアーをよりのしむための書籍『岩手山の花と木』、フォトコンテスト参加権などをリターンとし、ツアー参加に限らない応援が可能となっています。

● 背景

各地域で活動している山岳会は会員が減少傾向で、今後、登山道整備や自然保護活動などの継続に懸念が生じています。登山人気はコロナ後、回復傾向にあるものの、登山自体はSNSの台頭もあり個人同士のつながりで行われる傾向が強まっており、登山が行われる山自体を守っていくための組織的な活動では、人的・資金的リソースの不足が止まらない状況があります。山が荒れれば登山者は減り、周辺経済も弱まり、結果として、山を守っていく担い手はさらに減ってしまいます。この流れを改善することが、いま喫緊の課題となっています。

これら課題を解決するために、まず最初に取り組むべきことが、山と山にまつわる魅力を伝える努力をすることだと考えました。そうすることで、登山者を増やし、周辺経済の活性化につなげ、生まれる余力によって山の環境改善をし、そして訪問する登山者がまた増えていく。このような循環をつくり出すことを目指しています。JMSCAは、全国の山岳団体を代表する窓口であり、また、JMSCA自体に登山における環境整備、普及活動という使命があることから、この度、具体的なアクションとして本プロジェクトを企画しました。

きっかけは、今回の舞台である岩手県の一般社団法人 岩手県山岳・スポーツクライミング協会の発行した書籍『岩手山の花と木』でした。当書籍は岩手山の植生を詳細に記した内容で、一般登山者が中々知り得ない貴重な高山植物の情報などが網羅されています。頂上を目指す、景観を眺めるというだけではない、もっと解像度高く、大きな山の中にもある一つひとつの小さな物語をつぶさに拾っていく。加えて、文学が切り取ってきた心情や生活の履歴といった層を重ねる。こういったことで、登山の行程はとても豊かに、より深みのある体験となります。文学者が立ち上げた山岳会という原点に立ち戻り、JMSCAだからこそ未来の登山者含めた全登山者に伝えられるメッセージがあると考え、今回の企画に至りました。

● クラウドファンディング概要

タイトル：「岩手山を望む、東北の文学登山ツアー ～味わう登山。山と自然と文学と～」

URL：<https://motion-gallery.net/projects/jmsca-01-iwatesan>

期間：2025年4月1日～2025年6月30日（3ヶ月間）

目標金額：40万円（ただし、本金額は1ツアーの最低催行人数。目標は全ツアープランの完売）

リターン：岩手山からの便り（感謝のメール）／岩手山の手ぬぐい／書籍『岩手山の花と木』／岩手山のフォトコン参加権／ツアー：プランA（2泊3日）／ツアー：プランB（1泊2日）

● ツアー概要

登山対象：秋田駒ヶ岳（雫石）、姫神山（盛岡）

内容：グループでのガイド登山、文学講演、温泉、宿泊、食事、懇親会、送迎

宿泊施設：国見温泉 森山荘（雫石）、ユートランド姫神（盛岡）

旅行企画・実施主体：一般社団法人しずくいし観光協会 旅行部（岩手県知事登録旅行業第2-210号）

● 今後の展開

山を愛する皆さまからのコメントを求め、いただき次第随時アップデート記事として更新します。

クラウドファンディング期間最終日のタイミングでは最初のツアーが実施されます。そこでの様子を最後にお伝えし盛り上げていきます。

プロジェクト終了後は、他地域への展開のために結果や反響をまとめ、準備が整い次第、第2弾、第3弾と、地域を変えながら実施していく予定です。

● 主催者メッセージ

今後の国内は、人口動態の統計からあきらかに、あらゆる地域、あらゆる業界で相似形の課題を抱えていると考えています。具体的には、高齢化、人口減少のひずみが、現在想像できる以上に大きな影響を各所に与えていくことと感じています。しかし時代が変化することは悪いことばかりではなく、選択と集中が進み、意思のある活動が増え、新しい文化が生まれてくることと思います。今後よりグローバル社会が進む中では、それに逆行するように、足元を見直し、身近なものを大切にしていくことで、よりローカルなものを磨いていくことが見直されてくるのではないのでしょうか。自然をそのままのしむ登山をはじめとしたアウトドアアクティビティは、そんな新しい時代を支える、持続性のある、人々のたのしみとなると考えています。是非この試みにご賛同いただき、ご協力賜れますと幸いです。

● 主催団体概要

団体名：公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

代表理事・会長：蛭田伸一

創立：昭和35年4月

URL：<https://www.jma-sangaku.or.jp/>

住所：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 905

<本件に関するお問い合わせ>

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 マーケティング委員

担当：北原 豪 E-Mail：cf.jmsca@gmail.com

<メディアからの本件に関するお問い合わせ>

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 マーケティング委員

担当：北原 豪 TEL. 090-4361-6242 / E-Mail：cf.jmsca@gmail.com

<写真素材一式>

https://drive.google.com/drive/folders/1e-BatgsAgCF7muEtfGEypZuS7oYXdBwN?usp=drive_link